

第2回 横浜市中区地区センター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	平成 27 年 8 月 20 日 (木) 13 時～17 時 30 分
開 催 場 所	中区役所本館 6 階 6 0 2 会議室
出 席 者	佐藤響子委員長、近藤恵子委員、野澤誠一委員、古本悦子委員、松澤秀夫委員 (計 5 名)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開 (傍聴者 2 人)
議 題	1 面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 会議の公開・非公開について 面接審査は公開し、審議は非公開とすること 2 指定候補者の選定について 各施設の指定候補者を次のとおりとすること (1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 一般社団法人中区民活動支援協会 (2) 竹之丸地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会 (3) 野毛地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会 (4) 本牧地区センター 株式会社清光社
議 事	1 面接審査 (1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 【応募団体】一般社団法人中区民活動支援協会 (現指定管理者) ア プレゼンテーション (10 分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答 (20 分) (委員) 各施設の職員配置、勤務体制はどのようになっているか。 (団体) 中本牧コミュニティハウス (以下、中本牧 CH という。) は、職員 3 名、 スタッフ 8 名の常時 2 名体制で、上台集会所は、職員は中本牧 CH と兼務し、 スタッフ 6 名の常時 1 名体制としている。 (委員) 中本牧 CH の図書コーナーの利用人数、利用者層、図書の貸出し方法、活 用方法について確認したい。 (団体) 平成 26 年度は、約 4,300 冊の貸出しがあり、小学生の利用が多い。また、 貸出しは、館内閲覧のほか、独自のカードを発行し 2 週間で 6 冊までとして いる。司書は配置していない。自主事業で読み聞かせを行っている。 (委員) 中本牧 CH 利用者の避難訓練の実施についてどのように考えているか。

(団体) 自主事業として避難訓練を実施したい。

(委員) 中本牧CHの利用マナー、路上駐輪への対応はどのように考えているか。

(団体) 職員・スタッフが啓発に取り組んでいる。

(委員) 館長の10万円以下の支出権限、使途について確認したい。

(団体) 主に日常の消耗品を購入している。

(委員) 上台集会所は建物の2階にあり、1階はスーパーマーケット、階上は住宅となっているが、防災等において連携しているのか。また、災害時の具体的な対応はどのようになっているか。

(団体) 入居しているURが建物を管理しており、日常的な連携は特にしていない。災害時は、2つある階段を利用し、施設利用者を誘導する。

(委員) 階段昇降機の点検の実施状況、消防法の順守状況について確認したい。

(団体) 階段昇降機は、保守契約を締結し定期的に点検している。部屋の貸出しにあたっては、各部屋の定員等に留意している。

(委員) 各施設のホームページの更新頻度、掲載内容について確認したい。

(団体) 随時更新している。掲載内容は、主に施設の紹介・イベントの告知となっている。ホームページに掲載したイベントについて、時々問合せがあり、利用者には見てもらっているようだ。

(2) 竹之丸地区センター

【応募団体】 一般社団法人中区民活動支援協会（現指定管理者）

ア プレゼンテーション（10分）

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答（20分）

(委員) 小中学生・高校生の主な利用目的、来館時の様子について確認したい。

(団体) 中学生・高校生は放課後の勉強が主な利用目的となっており、小学生は友達とゲームをしている。小学生の中には、注意しても騒いでしまう子がおり、対応に困っている。賑やかでよいという地域の方もいるが、他の利用者に迷惑になってしまうことを懸念している。

(委員) 中区だけでなく子供の体力低下が指摘されていることから、スポーツ推進委員等と連携した子供の体力向上のための取組を検討してはどうか。

(団体) 体育室は卓球・バスケットボールができるよう個人開放しているが、参考にしたい。

(委員) 館内に設置されているAEDの取扱い方に関する講習は行っているか。

(団体) 毎年、日本赤十字社の協力のもと実施している。

(委員) 地区センター祭りの様子はどうか。

(団体) 近隣にお住まいの方だけでなく、遠方からの参加者もあり、盛大なイベントとなっている。

(委員) 町内会等で健康麻雀が好評であることから、地区センターの自主事業とし

て実施してはどうか。

(団体) 検討する。

(委員) 図書購入費が他の施設に比べて多い理由、購入の際の本の選定方法について確認したい。

(団体) 図書購入費の約半分は児童書で、その他は利用者からの要望をもとに購入している。新刊は、話題性のあるものを選び、月1回購入している。

(委員) 親子向けの催し物は実施しているか。

(団体) 子連れでヨガ教室、親子料理教室等を実施している。

(委員) 提案書にはホームページの充実とあるが、具体的な内容を確認したい。

(団体) 現状は更新間隔が空いてしまいがちだが、今後はタイムリーな情報提供を心掛けたい。また、高齢者向けにホームページだけでなく、紙媒体による情報提供も考えている。

(委員) 自主事業計画の「高齢者のための手仕事教室」は、どのような内容か。

(団体) 毛糸でたわしを作り、完成品を持ち帰ることができる教室で、手先を使って生活に役立つものを作ろうという趣旨で実施している。8～12名の参加がある。

(3) 野毛地区センター

【応募団体】 一般社団法人中区民活動支援協会（現指定管理者）

ア プレゼンテーション（10分）

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答（20分）

(委員) 本町小学校の児童が急増しているが、子供向けの企画について何か考えはあるか。

(団体) 例えば、鉄道クラブ神奈川支部の協力による企画を実施している。また、水・日曜日の15時から卓球ができるよう集会室を開放し、子供たちに運動の機会を提供している。

(委員) 災害時の避難口は確保されているか。

(団体) 通常の入出口とベランダへの出入り口の2つの避難口を確保している。階下の商業施設とも災害時に連携がとれるよう協力体制を築いている。

(委員) 地区センターは地域の元気づくり推進協議会とどのように関わっているのか。また、元気づくり推進協議会の特長は何か。

(団体) 協議会のメンバーに加わるとともに、会議や打合せ時に部屋を貸出している。協議会は、地域の活性化のため、まち全体で協力し合うことが目的の1つとなっている。

(委員) 駅から近い場所に立地しており、単身者向けの夜間一人で参加できる事業の需要が見込まれるが、どのように考えているか。

(団体) 夜間の稼働率が高いため、一般の利用を妨げてしまうおそれがあり、自主

事業の実施は見送っている。

(委員) 周辺はワンルームマンションが多いので、友人づくりや交流の場として、例えば、単身の女性向け料理教室を開催してはどうか。

(団体) 委員の意見を参考に今後検討したい。

(委員) 夜間スタッフを削減して、運営に支障はないか。

(団体) 職員1名、スタッフ1名の2名体制だが、利用団体の特徴を掴み、利用団体の円滑な入れ替えを行うなどの工夫をしているため問題はないと考えている。

(委員) 今後、中高生の利用増加が見込まれるということだが、中高生向けのツイッターの活用について、考えはあるか。

(団体) 現在、区のツイッターを利用しているが、情報提供は大事だと考えており、今後検討したい。

(委員) 利用満足度が高いということだが、その理由についてどのように考えているか。また、その特長を他の地区センターに生かすことはできないか。

(団体) 長年の人材育成の積み重ねのほか、ロールプレイング等を取り入れた職員の接遇研修を毎年実施して、職員の育成に力を入れているためだと考えている。

(委員) 自主事業計画に単発の事業が多いが、これらを増やすことはできるか。

(団体) 自主事業は1年ごとに企画しており、要望があれば増やすことも検討する。近年は稼働率が高いにも関わらず利用人数が低い傾向がある。自主事業は、参加者に事後グループの結成を促し、部屋を利用する団体を増やすことが目的の1つでもある。

(委員) 自主事業計画に「音楽と落語の宅配便」とあるが、どのような内容か。

(団体) セミプロの方にはほぼボランティアで音楽と落語を提供してもらっている。

(4) 本牧地区センター

【応募団体】株式会社清光社（現指定管理者）

ア プレゼンテーション（10分）

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答（20分）

(委員) 第三者評価においてホームページの更新頻度が少ないという指摘があったようだが、その後は改善されているか。

(団体) 業務内容を改善し、更新頻度を多くしている。

(委員) 剰余金を社会福祉協議会に寄付しているということだが、詳細を説明してほしい。

(団体) 平成23年から、地域に貢献できるよう善意銀行に年10万円程度の寄付を実施している。

(委員) 株式会社が地区センターの管理運営を手掛けるメリット、その志について

聞きたい。

(団体) 株式会社清光社は、創立以来 56 年、横浜市・横浜市民に育まれてきた。また、会社の理念に横浜市・横浜市民への貢献があり、地区センターを窓口として地域に貢献したいという思いがある。また、人とのふれあいによって、社員一人ひとりが成長できるという点が会社にとってメリットとなっている。

(委員) 株式会社清光社が本牧地区センターを管理運営する強みは何か。

(団体) 地域の資源を生かし、地域と各施設をつなげる中心的役割を果たしている点だと考えている。

(委員) 提案書に有資格者一覧があるが、施設の管理にどのように生かされているのか。

(団体) 複合施設のため、中図書館が施設の管理を行っており、施設の管理はしていない。ただし、日常的な点検や不具合の発生時等において、修繕の判断の迅速化と経費の削減に生かされている。

(委員) 緊急時の対応体制はどのようになっているのか。

(団体) 状況に応じて本社から社員を派遣する。

(委員) 0 歳児からの自主事業が他の施設に比べて多いようだが、ボランティアが行っているのか。

(団体) 講師を呼んで実施している。また、自主事業は、基本的に 0 歳児から受け入れており、参加は多い。

(委員) 提案書に「オール横浜体制」とあるが、詳しく説明してほしい。

(団体) 施設職員から自主事業の講師まで、横浜市民が本牧地区センターの管理運営を行っているということだ。

(委員) 来館者を想定した避難訓練は実施しているのか。

(団体) シミュレーションや実際の対応について話合いの機会を設けている。

2 応募団体の財務状況及び資格要件の照会結果について報告

事務局から、すべての応募団体について、市税等の納付状況を確認し、暴力団排除措置に伴い神奈川県警に照会した結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、税理士による財務状況審査の結果、すべての応募団体が指定管理期間中の施設の管理運営に支障はないと判断された旨を報告した。

3 指定候補者の選定

委員による評点を集計した結果、すべての応募団体が最低評価基準（435 点）を満たしていたため、各施設の指定候補者を次のとおりとすることが決定された。

なお、いずれの施設も応募団体が 1 団体のみであったため、次点候補者なしと決定された。

(1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所

	<p>一般社団法人中区民活動支援協会（得点：664点／725±25点）</p> <p>(2) 竹之丸地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会（得点：676点／725±25点）</p> <p>(3) 野毛地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会（得点：689点／725±25点）</p> <p>(4) 本牧地区センター 株式会社清光社（得点：635点／725±25点）</p> <p>4 その他 選定経過・結果を区長に報告することについて、了承された。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料 なし</p> <p>2 特記事項 なし</p>